

授業科目	*公衆衛生看護学概論					実務家教員担当科目	○							
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期							
担当教員	布花原 明子、眞崎 直子													
授業概要	<p>本授業は行政保健師の経験を持つ実務家担当教員が、地域で生活する人々の健康増進と疾病予防に努め、地域全体の QOL 向上を目指す公衆衛生看護の概念と活用理論、公衆衛生看護活動の機能・役割について解説する。</p> <p>少子高齢社会において、予防の重要性が強くうたわれ、健康な地域づくりが重要な課題となる。また、療養の場が医療施設から地域へと拡大するなか、地域における看護の役割が大いに期待されている。その期待に応えるために必要な視点や意義について解説する。</p>													
授業形態	対面授業			授業方法										
<b>学生が達成すべき行動目標</b>														
標準的レベル	<p>1. 公衆衛生看護の基本理念、概念、倫理について説明できる。(DP1-2)</p> <p>2. 公衆衛生看護の対象とアプローチを説明できる。(DP1-2)</p> <p>3. 公衆衛生看護活動の基盤となる理論および展開方法を説明できる。(DP1-2、2-1)</p> <p>4. 保健医療福祉を取り巻く社会の変遷と公衆衛生看護活動の関連性を理解し、公衆衛生看護活動の意義について説明できる。(DP2-1、3-2)</p> <p>学生が達成すべき行動目標 1～4 を達成すること。</p>													
理想的レベル	<p>標準的レベルに加え、これから日本社会における公衆衛生看護活動についての展望を検討し、説明できる。</p> <p>保健師課程選択希望の学生は、理想的レベルの達成を期待します。</p>													
<b>評価方法・評価割合</b>														
評価方法			評価割合（数値）			備考								
試験			80%											
小テスト			0											
レポート			0											
発表（口頭、プレゼンテーション）			0											
レポート外の提出物			0											
その他			20%			毎回授業後に提出する振り返りフォームへの積極的参加状況								
<b>カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング</b>														
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU21501J			
<b>学習課題（予習・復習）</b>									1回の目安時間（時間）					
復習：講義内容について整理しておく									4					
<b>授業計画</b>														
第1回	テーマ 公衆衛生看護の基本理念（布花原） 公衆衛生看護の理念について解説する。													

第2回	テーマ 公衆衛生看護学を支える概念、倫理（布花原） 学生自身が地域で生活する生活者であることを認識し、地域とは何かを理解する。 公衆衛生看護を支える概念および倫理について解説する。
第3回	テーマ 人口および疾病構造の変化と健康課題（布花原） 少子高齢化と健康課題について解説する。
第4回	テーマ 社会構造・文化的背景の変化と健康課題（布花原） 健康の社会的決定要因および健康課題解決のための資源について解説する。
第5回	テーマ 社会情勢、政治・経済・産業構造の変化と健康課題（布花原） 持続可能な社会保障制度、医療制度の改革や地方分権の推進など健康課題との関連を解説する。
第6回	テーマ 公衆衛生看護活動の基盤となる理論と展開方法（布花原） 公衆衛生看護活動の基盤となる理論と展開方法について解説する。
第7回	テーマ 公衆衛生看護の活動対象へのアプローチ 1.（布花原） 公衆衛生看護の活動対象としての個人・家族の特性と援助の必要性およびアプローチ方法を解説する
第8回	テーマ 公衆衛生看護の活動対象へのアプローチ 2.（布花原） 公衆衛生看護の活動対象としての集団・組織、地域の特性と援助の必要性およびアプローチ方法を解説する
第9回	テーマ 公衆衛生看護活動の展開の場（眞崎） 行政機関における公衆衛生看護活動について、実践活動を通して、具体的に解説する。
第10回	テーマ 公衆衛生看護活動の展開の場（眞崎） 職域及び学校における公衆衛生看護活動について、実践活動を通して、具体的に解説する。
第11回	テーマ 公衆衛生看護活動の展開の場（眞崎） 医療施設、福祉施設および国際における公衆衛生看護活動について、具体的に解説する。
第12回	テーマ 公衆衛生看護活動の展開方法（眞崎） 公衆衛生看護活動における地域アセスメントおよび看護過程について解説する。
第13回	テーマ 公衆衛生看護活動の展開方法（眞崎） 公衆衛生看護活動における地域アセスメントおよび看護過程について実践事例（地域診断）を通して解説する。
第14回	テーマ 公衆衛生看護活動の歴史（眞崎） 公衆衛生看護活動の発生とその時代の背景について解説する。
第15回	テーマ 授業のまとめ（布花原） 今までの講義で出てきた疑問及び学習を深めるべき内容について解説する。
テキスト	標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論（第6版）, 医学書院 その他、講義ノートを作成し、配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業時、隨時、紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	単元ごとに提出する振り返りフォームの回答に対して、コメントを隨時返却します。
学生へのメッセージ・コメント	学生自身が生活者として、生活を取り巻く環境を認識し、地域で生活する人々を取り巻く健康に

関する現状や課題について、関心を持ち、授業に臨むこと。

1 年後期で受講した公衆衛生学を基礎知識として復習しておくこと。

担当教員に対して、講義を通じての疑問や課題検討についての助言を積極的に求めることを期待します。

